

1977年の有珠山山頂噴火から40年

今から40年前の1977年8月7日、午前9時12分、有珠山は山頂から噴火しました。前兆地震からわずか32時間後のことでした。噴煙は1時間ほどで旅客機の飛行高度である上空12,000mに達しました。その後、有珠山は1週間で10数回も噴火を繰り返しました。噴火で降った火山灰の量は札幌ドーム一杯に火山灰を詰めたとしてドーム約53個分の量！降り積もった火山灰は、雨でドロドロになり、樹木や作物を枯らしました。また、海では火山灰の影響でホタテが大量に死んでしまうなど、周辺一帯に大きな被害を与えました。雨の影響で、本当は遠くへ運ばれるはずの火山灰が山の近くに降り積もり、山頂では約1m、山麓でも30~50cmの厚さになりました。数cm積もるだけで交通機関は麻痺し、地域の人々は家や道路の他、農作物の除灰作業に追われました。そして翌年の10月24日、雨で流された火山灰が土石流となり3名の犠牲者を出しました。

こうした過去の噴火の経験と科学的なデータから、1995年に有珠山防災マップが作成され、2000年噴火の際にはこの防災マップに基づいた避難が行われ、一人の犠牲者も出さずに済みました。有珠山は数十年に一度噴火を繰り返してきましたが、次の噴火の正確な予知は不可能とされています。有珠山の特徴をよく理解するとともに、日頃から家族との集合場所や避難場所の確認をしておきましょう。



1977年8月7日、旧洞爺村役場庁舎前(現洞爺湖芸術館)から撮影した噴煙『有珠山噴火農地災害復旧写真集』より抜粋

抽選で
当たる!

洞爺湖町 オリジナルエコバックで 『大地の物語』をPR!

洞爺湖周辺の実り豊かな大地をもっと宣伝したい!という思いから生まれた洞爺湖町オリジナルエコバック「大地のポケット」に、新たに3つの図柄が加わりました。国の地方創生加速化交付金事業の採択を受けて実現したもので、山陰海岸ジオパークである兵庫県豊岡市の鞆専門店で作られたバックです。

このオリジナルエコバック(3種類のいずれか1個)を12月まで、**毎月抽選で6名の人**にプレゼントします。ぜひ、このバックを持ち歩いて「世界ジオパークの町」の宣伝役になってください!

希望する人は、はがきかファクス、またはEメールで、下記内容を記入の上応募してください。7月分の締切は7月31日の消印まで有効です。当選は発送をもって代えさせていただきます。
※一度当選された人は対象となりませんので注意してください。



バックの図柄は絵本『11万年のうえの一日』から「小幌海岸」「リンゴ畑」「洞爺湖温泉」の3種類。 ※図柄の指定はできません

1. 応募者の名前
2. 連絡先電話番号
3. 届け先の住所(洞爺湖町内に限ります)
4. ジオクイズの答え

<問題>

有珠山は2000年噴火の前、何年に噴火しましたか?

※答えはこのジオパーク通信内にあります。よ〜く読んで答えてね

～ 応募先 ～ 〒049-5692

洞爺湖町栄町58番地 洞爺湖町役場ジオパーク推進課

※ファクスの方は Fax 76-4727まで

※Eメールの方は info@toya-usu-geopark.org まで